

事務局：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

電話 / FAX : 03-5740-9505 e-mail : 最後のページ参照

日本教育工学会ホームページ <http://www.jset.gr.jp/>

ISSN 1340-9913

## FD研修会へのお誘い

日本教育工学会 会長 赤堀侃司 (東京工業大学)

毎年3月の下旬になると、京都大学で行われる、大学教育研究フォーラムを思い出します。このフォーラムは、大学教育の在り方、教育方法の改善、授業の工夫など、実践的な内容も含んだ、報告が行われます。ほほをなでる風が心地よい春の季節なので、気持ちがゆったりすることも、フォーラムの内容と共に、記憶に残っているのだと思います。フォーラムに参加して、いつも思うことは、これは、日本教育工学会が取りあげるべき活動ではないのか、ということです。そこで私が、理事会で、日本教育工学会として、大学のFD研修会を企画したいという提案をし、できれば、学会としての認定書も発行したいと、申しました。ほとんどの理事に賛同していただき、特別企画委員会として、企画と運営をすることになりました。永野委員長を中心に、企画を練って、この3月に実施することになりました。詳細は、ホームページなどをご覧いただきたいが、この企画には、いくつかの特徴があります。

1つは、学会員以外にも、当然ですが、対象にしています。2つは、ワークショップと演習形式が中心になります。3つは、レポートを提出していただき、その内容の審査をした上で認定書を発行することです。それらのアイデアは、特別企画委員会で練られましたが、興味深い研修内容だと思います。講師は、多人数の学生を対象にした、大学授業で画期的な実践しておられる、西之園晴夫先生、宮田仁先生が中心です。私は、この企画が、実を結ぶように、期待をしていますが、知り合いの先生方にも、是非声をかけていただければ、幸いです。

3月29日の春の季節、聖心女子大学のキャンパスで、大学授業のワークショップに参加しませんか。まだ生まれたばかりの未知数の企画ですが、実りある研修会ができること、いつかは、この研修会が、多くの大学に認知され、認定書が権威ある証明書となる日を、夢見ております。学会員の皆様、どうぞ、よろしくお願ひします。

### 本号目次

FD研修会へのお誘い -----	1	大学教員のためのFD研修会のご案内 -----	11
総会及びシンポジウムのご案内 (第一報) -----	2	理事会議事録 -----	11
研究会案内 / 発表募集 / 報告 -----	3	最近の論文投稿数と採択率 -----	14
全国大会のお知らせ (第一報) -----	7	会費納入のお願い / 研究報告集の予約購読等 -----	15
産学協同セミナーのご案内 (最終報) -----	9	新入会員等 -----	16
ショートレター増刊号論文募集のご案内 (最終報) --	10		

## 日本教育工学会第25回通常総会及びシンポジウムのご案内(第一報)

日 時：2009年6月20日(土) 10:00～16:00(受付9:30より)

場 所：東京大学 福武ホール 東京都文京区本郷7-3-1 <http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/>  
○都営大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩7分 ○東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩8分  
○東京メトロ千代田線 湯島駅 徒歩20分 ○東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩10分

参加費：500円(資料代)

申込方法：当日受付にて直接お申し込みください。

### 【午前の部：10:00～12:00】研究報告・ディスカッション(主として学会員向け。ただし非会員の方の参加も可能)

■テーマ 教育工学会重点3領域研究と今後の課題

■ねらい 日本教育工学会では2006年からの3年間、以下のような3つの領域の研究を重点項目としてとりあげ、課題研究や合宿研究会、シンポジウムなどのテーマとして奨励してきました。ここでは、この数年間の各領域における研究を振り返り、今後の課題を検討し、会員とともに議論したいと考えます。

■コーディネータ・司会 赤堀侃司(東京工業大学)

- 登壇者
1. 新しいICT・教育システムの開発に関する研究 矢野米雄(徳島大学)
  2. 高度で効果的な教育方法の開発と普及に関する研究 永野和男(聖心女子大学)
  3. 教育工学研究・実践研究の体系化に関する研究 野嶋栄一郎(早稲田大学)

### 【通常総会：12:30～14:00】

第1号議案 2008年度(2008.4.1-2009.3.31)事業報告及び収支決算承認の件

第2号議案 2009年度(2009.4.1-2010.3.31)事業計画及び収支予算案承認の件

第3号議案 会長、理事、監事、評議員の選任の件

### 【午後の部：14:00～16:00】シンポジウム(会員及び一般参加者向け)

■テーマ 学力の評価について考える

■ねらい 国際レベルで実施されるPISAやTIMSS。全国レベルで実施される教育課程実施状況調査、全国学力・学習状況調査。そして、各地域や学校が独自に実施している学力調査など、様々な学力調査結果が教育現場や社会に示されています。これらのデータを生かすには、それぞれの学力調査が測定している学力を分析し、自らの教育や教育施策の成果と課題を把握して改善を図っていく継続的な検証・改善サイクルを確立することが必要です。そのことについて、教育工学が貢献できることや教育工学に期待されることについて議論を深めることで、実際に、児童生徒への教育指導や学習状況の改善、教員の指導力向上と授業改善、学校運営の見直しに役立てるためのデータの分析法、活用法等を探ることをねらいとします。

■司会・登壇者 学力評価を管理する立場 学力を分析する立場  
学力評価を研究する立場 学力評価を受ける立場  
などから計画中。

## 研究会の開催

研究会  
2009

## テーマ ICTの教育活用と授業設計／一般

- 日 時：2009年 3月 7日(土)
- 会 場：椋山女学園大学(星ヶ丘キャンパス 文化情報学部棟)  
(〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号)
- 担 当：亀井美穂子(kamei@sugiyama-u.ac.jp) Tel: 052-781-6269(直通)

## プログラム

発表時間：発表1件につき25分(発表20分程度，質疑5分程度)

A会場(502教室), B会場(503教室), C会場(501-A教室), D会場(501-B教室), E会場(404教室)

9:25- 9:30 諸連絡 9:30-11:35 午前の部

- A1) 児童生徒・保護者・担任教員を対象とした児童生徒のケータイ所持と使用実態に関する調査(2)  
杉本圭優(富山短期大), 堀田龍也(メディア教育開発センター), 石原一彦(岐阜聖徳学園大),  
戸田俊文(熊本県教育庁), 那須寛・藤原理香・和田朋子・末吉恵美(NTTドコモ)
- A2) 8話のドラマによるケータイ向け情報モラル教材の開発  
石原一彦(岐阜聖徳学園大), 杉本圭優(富山短期大), 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- A3) 児童・生徒の携帯電話の所持についての検討 - 東海地域で起きた事件を踏まえて -  
藤澤大(朝日大)
- A4) 情報モラル判断の思考モデルに基づく生徒・教師用学習教材の開発と評価  
降矢一洋・松田稔樹(東京工業大), 玉田和恵(江戸川大),  
近藤千香(東京工業大学附属科学技術高)
- B1) 複数の高等教育機関を対象とした携帯電話への情報配信システムのサービス提供と改善  
葉田善章・篠原正典・清水康敬(メディア教育開発センター)
- B2) 群馬県立県民健康科学大学における3次元構築技術の活用  
三尾綾子(東京工業大), 小倉敏裕(群馬県立県民健康科学大),  
波多野和彦(メディア教育開発センター), 松田稔樹(東京工業大)
- B3) ICTとローテクを併用した大学基礎科目「情報倫理」の授業実践と考察  
神村伸一(東北文化学園大)
- B4) 産学連携によるICT活用授業の設計と実践 - インターネット映像コンテンツ『金城ポッドウォーク』とFM放送番組『FMジャック・目がテンJD』について -  
中田平・岩崎公弥子・後藤昌人(金城学院大)
- B5) 教育用電子著作物の再利用改変合意システムの開発  
清水康敬・尾崎史郎(メディア教育開発センター)
- C1) 思考力育成のための教材開発 - 初等教育におけるシンキング・ツール活用 -  
坂田篤志(学習創造フォーラム), 今野貴之・岸磨貴子・黒上晴夫(関西大)
- C2) 研究計画策定時の自己内対話を促す研究アイデアマップ - 初学者の思考プロセスを考慮した研究アイデアオントロジーの構成 -  
中沢正江・池田満(北陸先端科学技術大学院大)
- C3) 教員と研究者による実践コミュニティの形成 - ICTを活用した国際交流学習を事例として -  
久保田真弓・泰山裕・遠海友紀・水越敏行(関西大)
- C4) 平成17年度現代GP採択事業「e-Learning専門家の人材育成」の最終成果および継続事業の実施報告  
長沼将一・玉木欽也(青山学院大)
- C5) 教科書に基づく穴埋め問題の自動生成とその教育効果 - 個別学習支援における学習進捗度管理の事例研究 -  
久村優・磯本征雄・長谷川信(岐阜聖徳学園大)
- D1) 知識創発型プレゼンテーションのための多画面対応議論ソフトウェアの開発  
栗原一貴(産業技術総合研究所/東京大), 椿本弥生(東京大), 望月俊男(専修大/東京大),  
大浦弘樹・西森年寿・中原淳・山内祐平(東京大),  
渡部信一(マイクロソフト・ディベロップメント)
- D2) 少人数指導を前提とした授業用プレゼンテーションソフトPower C#の開発 柏木肇(電気通信大)
- D3) 協調的な学習を支える共同学習者と学習支援者の役割 - 大学生に対するソフトウェア技術演習を事例として -  
我妻優美・永野和男(聖心女子大)
- D4) コラボレーションによる電子教材開発の方法論 - SECIモデルからCollaboモデルへ -  
柏木肇(電気通信大)

- 
- E1) 生徒と教員が「中学校部活動」へ抱いている意識の現状 ー生徒と教員への質問紙調査を通しての  
考察ー 森下翔悟・藤村裕一(鳴門教育大)
- E2) メディア観に関する質問紙調査の分析と考察 小林建太・藤村裕一(鳴門教育大)
- E3) キャリア発達のための自己認識と自己成長について ー若年層の自発的離職意識からみえる問題点  
に着目してー 武知将人・藤村裕一(鳴門教育大)
- E4) 保育実践知と論理思考力に関する研究 中村恵(奈良佐保短期大)

**12:45-12:50 委員会挨拶・諸連絡**

**12:50-14:30 午後の部第一部**

- A5) 教師に必要なICT活用スキルについての調査研究  
中川斉史(三好教育ネットワークセンター), 石原一彦(岐阜聖徳学園大)
- A6) 算数科授業でのICT活用による指導の効率化の分析  
渡邊光浩(三股町立勝岡小), 高橋純(富山大), 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- A7) 教員のICT活用を支援するリーフレットの評価  
皆川寛(登米市立北方小), 渡邊光浩(三股町立勝岡小),  
高橋純(富山大), 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- A8) 各教科等の指導における情報活用スキルの習得度の調査  
塩谷京子(静岡市立森下小), 堀田龍也(メディア教育開発センター)

- 
- B6) インターネットを使った探求型学習の教育効果 早川肇(慶應義塾普通部), 野村亜由美(長崎大)
- B7) 情報の多面的読解に関する研究 ー多面的読解テストの結果の分析ー  
徳永裕一・藤村裕一(鳴門教育大)
- B8) LSAを用いた説明文指導ポイントの自動選定の試み  
椿本弥生(東京大), 中村光伴(熊本学園大), 岸学(東京学芸大)
- B9) 正しく使える日本語力の養成を目指した授業設計におけるICT教材の位置づけ ー英国中等教育向け  
日本語リソース『カ-CHIKARA-』の場合ー  
来嶋洋美(国際交流基金), 田中真寿美(筑波大)

- 
- C6) 学校子どもブログ活動の背景と教育的意義  
豊福晋平(国際大), 辻美早子(一宮市立瀬部小),  
町田智雄(横浜市立千秀小), 鷲尾健二(新潟市立亀田東小)
- C7) 学校評価を前提とした学校ホームページの情報提供方策  
中島進(伊万里市立黒川小), 豊福晋平(国際大)
- C8) 教職員・児童・保護者による全校的ホームページ運用体制の構築  
鷲尾健仁(新潟市立亀田東小), 豊福晋平(国際大)
- C9) 学校子どもブログの交流活動を支える技術的要素とその課題  
町田智雄(横浜市立千秀小), 豊福晋平(国際大),  
辻美早子(一宮市立瀬部小), 鷲尾健仁(新潟市立亀田東小)

- 
- D5) キャリア形成と他者が及ぼす影響の関係に関する研究 ー人間関係に関する潜在カリキュラムの  
考察ー 仲二見和恵・藤村裕一(鳴門教育大)
- D6) テレビ会議システムによる遠隔授業研究の効果と課題  
谷塚光典・竹島大悟・島田希・東原義訓(信州大)
- D7) 目標の構造化による小学校算数科の授業設計とその実践 細見隆昭(兵庫教育大)
- D8) ソーシャルネットワーキングサービスを活用した教育実習実践コミュニティのデザイン  
望月俊男(専修大), 北澤武(首都大学東京)

- 
- E5) 教員養成におけるメディア・リテラシー育成カリキュラムの開発と評価  
棚橋美保・今井亜湖(岐阜大)
- E6) 一次情報探索とグループワークによるメディアリテラシー実践 福本徹(国立教育政策研究所)
- E7) パソコン使用不安の変化による応用ソフトウェア操作達成度の一考察  
山岸正明(セコム山陰),  
木本雅也・目黒一成・大野賢一・井上仁・本村真一・西田英樹・石田雅(鳥取大)
- E8) 鳥取大学新入生における全学共通科目・情報リテラシーの履修効果  
木本雅也・井上仁・目黒一成・大野賢一・本村真一・石田雅・鈴木輝博・鈴木龍司・宮田直輝・  
藤尾聡・大淵晴美・近藤博史・西田英樹(鳥取大), 山岸正明(セコム山陰)

---

## 14:45-16:25 午後の部第二部

- A9) 教員のICT活用指導力向上のための形成的な評価方法の開発  
伊藤剛和(奈良教育大), 川上教夫(徳島県立総合教育センター), 原克彦(目白大)
- A10) 学校CIOの機能検討のためのICT活用リーダーシップ調査 2 –私立学校を対象として–  
波多野和彦(メディア教育開発センター), 山路進(日本私学教育研究所),  
新地辰朗(宮崎大), 坂元昂(日本教育工学振興会)
- A11) 教員研修Web総合システムTRAINを利用した研修コースの開発と評価  
本多博(長崎県教育センター), 山本朋弘(熊本県立教育センター),  
堀田龍也・清水康敬(メディア教育開発センター)
- A12) 教員のICT活用指導力の向上を目指した研修システムに関する研究  
丸山裕輔(新潟県立生涯学習推進センター)
- 
- B10) モバイルラーニング環境における情報提示メディアに関する基礎的研究  
渡辺雄貴(東京工業大), 加藤浩(メディア教育開発センター),  
赤堀侃司・西原明法(東京工業大)
- B11) モバイル端末とCMSによるコンテンツ利用を促進する新しい授業形態の検討 –iPod touchを用いたリアルタイム評価の試み–  
孕石敏貴(日進市立梨の木小), 野村泰朗(埼玉大)
- B12) 赤外線を用いたマルチタッチシステムの製作 –教育現場への活用と普及にむけて–  
永野直・野村林太郎・藤村裕一・林秀彦(鳴門教育大)
- 
- C10) プログラミング導入教育としてのロボット製作の成果  
渡邊景子・高山文雄(いわき明星大)
- C11) 高齢者のパソコン操作の特徴に関する研究  
山田浩貴・広瀬啓雄(諏訪東京理科大)
- C12) 熟練技術と専門知識の伝承支援に向けて –漆器の上塗り工程の分析事例–  
菅谷克行・上野恵美子(茨城大)
- 
- D9) 三方向相互作用モデルに基づく自立した消費者育成のためのゲーミング教材の開発  
通堂智子・松田稔樹(東京工業大), 遠藤信一(東京工業大学附属科学技術高)
- D10) 問題状況の俯瞰的理解を促す「技術者モラルゲーム・導入編」の開発と実践  
遠藤信一(東京工業大学附属科学技術高), 松田稔樹(東京工業大)
- D11) アスキーアートによる物語教材作成支援ソフトの開発と作成教材  
竹内俊彦・涌井智寛(茨城大), 加藤尚吾(早稲田大), 加藤由樹(東京福祉大)
- 
- E9) 教師のためのスペイン単語翻訳ソフトGraciasとその活用法  
柏木肇(電気通信大)
- E10) 合成音声評価スコアを提示するリスニング教材作成システムの開発について  
康敏・柏木治美・鎗木誠(神戸大)
- E11) 英語発音訓練における英語母語話者と学習者の協働学習プロセスの解明  
西尾由里(茨城大), 木下徹(名古屋大), 宮本節子(兵庫県立大),  
今井裕之(兵庫教育大), マーク・テラー(兵庫県立大)

- 
- 参加費用：参加費は無料ですが、研究会報告集の年間予約購読代金(3,500円)を支払済みの本学会会員以外の方は、報告集代として1,000円を当日受付にてお支払いください。
  - 交通案内：公共交通機関をご利用ください。  
【名古屋駅から】地下鉄東山線「星ヶ丘」駅(約20分)下車。6番出口より徒歩約10分。  
詳細は、<http://www.sugiyama-u.ac.jp/sougou/access.html> をご覧ください。
  - お知らせ：宿泊は、「栄」駅、もしくは「名古屋」駅付近にホテルが多く、地下鉄東山線一本で「星ヶ丘」駅に行けるので便利です。
-

## 研究会の発表募集

テーマ： ICTを活用したFD／一般

●日時：2009年5月16日（土）

●会場：徳島大学（担当：金西計英）

●申込締切：2009年3月16日（月）

●原稿提出：2009年4月12日（日）

●募集内容：平成19年の大学院設置基準の改正，平成20年の大学設置基準の改正によって，高等教育機関でのFD活動は義務化されました．その結果，大学では様々なFD活動が展開されるに至り，中には積極的にICTを活用した取り組みが始められています．そこで，本研究会ではFD活動を結実させるためのICT活用について，その方法や運用，あるいは実践そのもの途中経過や結果について，現在学内のFDに取り組んでおられる方々の発表を募り，議論や情報交換を行いたいと考えております．また，上記のテーマにはこだわらない教育学一般における発表も幅広く募集しております．

●申込方法：研究会Webページよりお申し込みください．

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

●原稿執筆：締切後1週間以内に，申込時に登録されたアドレスに発表の採択結果と執筆要項を電子メールにて送付いたします．

●原稿提出：原稿の提出はPDF形式で，研究会Webページの「発表申込フォーム」より，発表申込時に発行された「受付キー」を使用してお申し込みください．尚，期限を過ぎた場合はキャンセルしていただく場合があります．

## 研究会の発表募集

テーマ： 教科教育学と教育学の交差点／一般

●日時：2009年7月4日（土）

●会場：宮崎大学（担当：山口悦司）

●申込締切：2009年5月7日（木）

●原稿提出：2009年6月4日（木）

●募集内容：教科教育学と教育学は，各教科の教育目標の達成や教育実践の変革に寄与するという共通の志向を持った学問です．今回の研究会では，教育学の立場から教科教育にご興味をお持ちの方々，教科教育学の立場から教育学にご関心をお持ちの方々を対象に，各種の開発・評価研究，各教科の実践研究などに関する発表を募集します．それぞれの研究発表を通して，2つの学問がいかに相互貢献できるのかを参加者全員で探りたいと考えています．また，上記のテーマにはこだわらない教育学一般における発表も幅広く募集しております．

●申込方法：研究会Webページよりお申し込みください．

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

●原稿執筆：締切後1週間以内に，申込時に登録されたアドレスに発表の採択結果と執筆要項を電子メールにて送付いたします．

●原稿提出：原稿の提出はPDF形式で，研究会Webページの「発表申込フォーム」より，発表申込時に発行された「受付キー」を使用してお申し込みください．尚，期限を過ぎた場合はキャンセルしていただく場合があります．

## 今後の研究会の開催予定

開催日	募集テーマ（予定を含む）	開催場所
2009年10月24日	ICT活用の授業研究と教師教育／一般	信州大学
2009年12月19日	FDの組織化・大学の組織改革／一般	京都外国語大学
2010年03月06日	教育実践を指向した学習支援システム／一般	広島大学
2010年05月15日	情報モラル教育・ネットいじめ対策／一般	北教大旭川校

●発表申込み締切は概ね開催日の2ヶ月前となります．

●研究会に関するご意見・ご希望，研究会テーマ・企画などありましたらお気軽に研究会幹事までお寄せ下さい．

E-mail: [study-group-core@jset.gr.jp](mailto:study-group-core@jset.gr.jp)

## 研究会の開催報告

●日時：2008年12月20日

●会場：いわき明星大学

●発表件数：42件

●参加者数：80名

「教育システム・教材開発のためのICT活用」というテーマで研究会を開催いたしました．ポータブルデバイスや携帯電話，電子地図，電子書籍など最新技術による電子機器・システムの活用に関する研究や，日々進化しているweb技術を利用したeラーニングシステムの開発・活用に関する研究など多種多様なICT活用の実践的な研究とともに，ICTを活用した教育に関する調査研究の発表も多数なされ，活発な意見交換が行われました．当日は42件の発表が行われ，学生スタッフも含め80名余の参加をいただきました．交通機関のアクシデントによる進行への影響が心配されましたが，プログラム変更等でご対応いただき，予定されていたすべての発表を滞りなく実施することができました．参加された皆様のご協力あってこそと感謝しております．



（担当：いわき明星大学 渡邊景子）



# 日本教育工学会 第25回全国大会のお知らせ（第一報）

日本教育工学会第25回全国大会を、下記のように東京大学（本郷キャンパス）において開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。また、研究発表にも奮ってご応募ください。

## 1. 開催期日・会場

期日：2009年9月19日（土）～21日（月）（3日間）

会場：東京大学（本郷キャンパス）〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京メトロ丸の内線 本郷三丁目駅下車 徒歩8分

都営大江戸線 本郷三丁目駅下車 徒歩7分

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

## 2. 大会日程

第1日 9月19日（土）	第2日 9月20日（日）	第3日 9月21日（月）
9:30～10:00 受付	9:00～ 9:30 受付	9:00～ 9:30 受付
10:00～12:00 一般研究発表1	9:30～12:30 一般研究発表3	9:30～12:30 一般研究発表4
12:00～13:30 昼食、各種委員会	12:30～14:00 昼食・理事会	12:30～14:00 昼食・
13:30～15:30 シンポジウム1	14:00～14:30 全体会	大会企画委員会
15:50～17:50 一般研究発表2	14:45～17:30 シンポジウム2	14:00～16:30 課題研究発表
18:00～19:30 ワークショップ	18:00～20:00 懇親会	

\*プログラム編成によっては、時間帯が若干変わることもあります。なお、2日目の全体会では、研究奨励賞及び論文賞の表彰等があります。

## 3. 各セッションについて

### (1) シンポジウム

以下のようなテーマ（仮）が予定されています。

#### シンポジウム1

シンポジウム1A 新学習指導要領のスタートに向けて、「教育の情報化」のために教育工学は何をすべきか（仮題）

シンポジウム1B ICTを利用した教育・学習システムの目標設定と評価法（仮題）  
ー研究の「モザイク」から「るつぼ」への発展を目指してー

シンポジウム2 変革をささえる教育工学：サステナビリティとスケーラビリティ（仮題）

### (2) 課題研究

本大会では課題研究テーマを公募の上、大会企画委員会で決定します。まず、3月10日までの間テーマを公募します。その後、課題研究テーマを決定して大会Webサイト及びニューズレターで公表し発表者を募ります。課題研究のコーディネータは大会企画委員が担当します。それ以降はこれまでと同様で、発表希望者にプロポーザルを提出していただき、大会企画委員会が発表の可否を決定いたします。各課題について十分に討論することを目的としていますので、発表者は、発表だけで退席することなく、最後の総合討論に参加しなければなりません。この点、ご注意ください。

#### ■課題研究テーマの公募について

テーマ案の締切：3月10日（火） 提出先：taikai2009@jset.gr.jp

テーマ案の応募書式を第25回大会Webサイトからダウンロードして、課題研究テーマ、趣旨文、氏名・連絡先等を記述して、上記メールアドレスに添付ファイルとして申請して下さい。

### (3) 一般研究

一般研究発表は以下のテーマのセッションで行われます。セッションは申し込みの状況に応じて統合・分割などの調整を行うことがあります。

なお、一般研究発表については、口頭発表とポスター発表のどちらかを発表者が申込時に選択できます。ポスター発表者は、発表セッションの定められた時間帯に、ポスター前で説明及び討論に従事しなければなりません。

(1) 語学教育・国際理解 (2) 情報教育Ⅰ（情報活用能力の育成等） (3) 情報教育Ⅱ（教科指導等） (4) メ

ディア教育・メディアリテラシー (5) 教師教育 (6) 特別支援教育 (7) 生涯学習・企業内教育 (8) 看護・福祉教育 (9) 教育評価・データ解析 (10) 授業研究 (11) 授業設計・実践 (12) 高等教育における教育方法 (13) 教育ソフトウェア開発・評価 (14) 学習コンテンツ開発・評価 (15) 遠隔教育・遠隔学習 (16) 認知モデルと知的学習支援システム (17) インターネットを利用した授業実践 (18) 教育メディア (19) e-Learning (システム) (20) e-Learning (運用・評価) (21) 協調学習と協調作業 (22) ワークショップ (23) その他

#### (4) International Session

発表及び質疑応答が英語で行われます。本セッションは、教育工学研究の国際化に対応するものであるとともに、特に若い研究者に対しては、国際学会等での研究発表や討論を有意義なものとするための体験を提供する機会でもあります。発表は一般研究発表のいずれかのセッションと同じ時間帯で行われます。

#### (5) ワークショップ

本大会では新たな試みとしてワークショップを開催します。萌芽的研究に関するラウンドテーブルなどを会員が企画できる形態を実行委員会が中心となって検討しています。詳細は次回のニューズレターにて掲載する予定です。

### 4. 大会までのスケジュール

3月10日	火	課題研究テーマ案応募締切
4月初旬		課題研究発表プロポーザル募集開始
6月25日	木	課題研究発表申込書・プロポーザル (2～4ページ) 提出締切
7月 9日	木	課題研究発表の採否決定通知
7月16日	木	発表者の参加費事前送金締切 (郵便振り込みの場合)
7月23日	木	発表者の参加費事前送金締切 (クレジットカード払いの場合) 課題研究発表原稿 (2又は4ページ) 提出 一般研究発表/International Session申込書・原稿 (2ページ) 提出 ※17:00が最終締切時刻となります。原稿の差し替えは、7月28日17時まではWeb上で可能です。(電子メールによる差し替えは認められません)。
7月28日	火	提出原稿の差し替え締切 (17時厳守。以降の原稿の提出は一切受け付けません。)
8月20日	木	発表者以外参加費等事前送金期限 (郵便振り込みの場合) (以降は送金しない)
8月27日	木	発表者以外参加費等事前送金期限 (クレジットカード払いの場合) (以降は送金しない)



## 2008年度 産学協同セミナー開催のご案内（最終報）

### パネルディスカッション「職業的専門性としての教育工学」

#### ～教育工学を学ぶ・社会におくりだす・一緒に働く～

■日時：2009年3月6日（金）13:30～17:00

■会場：内田洋行 東京ショールーム

(<http://www.uchida.co.jp/company/showroom/canvas.html>)

■アクセス：東京メトロ 日比谷線「八丁堀駅」下車，「A4」出口より徒歩4分

東京メトロ 日比谷線・東西線「茅場町駅」下車，「1番」出口より徒歩5分

JR京葉線「八丁堀駅」下車，「B1」出口より徒歩5分

今年度の産学協同セミナーでは、「人材育成」を取り上げます。大学で教育工学を学ぶことのゴールは、研究者になることだけではありません。学習支援に関する理論や手法、教育システム開発・デザインのための実用的スキルを生かして、教育関連企業において活躍することも、教育工学を学ぶことの重要なゴールです。このような人材を育成して教育関連企業におくりだすことは大学の社会貢献の一側面であり、また、大学から受け入れた学生を育て、実践的教育工学の研究・開発を担う人材として育成していくことは、一企業の利益にとどまらず、教育工学という研究分野の進展にとっても大きな貢献となります。「教育工学で働く人材」の育成は、まさに、産学が協同で取り組むべき課題と考えられます。

そこで、今回のシンポジウムは、大学関係者、企業関係者、そして、大学から企業に入って活躍中の若手の3者を話題提供者にお招きし、それぞれの立場から、大学における人材育成の理念と現状、企業における人材育成の現状と大学に求める点、教育工学を学ぶことのキャリアメイクとの関連等、について語っていただきます。指定討論、全体討論をとおして、人材育成という視点からみた教育工学の発展を、大学・企業の双方からどのように支えていけるかについて、考えていきたいと思えます。

教育工学を専攻する学生諸氏、大学教員、企業において企画・開発に従事されている方等、幅広い立場の方の参加をお待ちしております。

#### タイムスケジュール(予定)

13:30～13:40： セミナーの趣旨説明と話題提供者・指定討論者の紹介

13:40～14:30： 話題提供1：教育工学を学び教育関連企業で働く若手より

飛弾信崇 (株)ベネッセコーポレーション デジタル事業開発部

清水悦幸 (株)内田洋行 教育システム事業部

山田智之 (株)内田洋行 教育総合研究所

14:30～14:45： 話題提供2：学生を教育関連企業に送りだしたことの大学教員

鈴木克明 熊本大学 大学院社会文化科学研究科

14:45～15:00： 話題提供3：教育関連企業の企画・開発部門責任者

大久保 昇 (株)内田洋行 取締役専務執行役員

15:00～15:10： フロアからの質問受付

15:10～15:40： 休憩

15:40～16:00： 指定討論者（交渉中）のコメント

16:00～17:00： 全体討論・総括

17:00～： 意見交換会

最新情報は、学会ホームページ (<http://www.jset.gr.jp/>) に掲載しますので、ご覧ください  
お問い合わせは、鈴木栄幸（茨城大学）までお願いします。hideyuki@mx.ibaraki.ac.jp

# ショートレター増刊号論文募集のご案内（最終報）

日本教育工学会論文誌 vol. 33, Suppl. の発行

論文受付締切：2009年4月1日（水） 編集委員会事務局必着

日本教育工学会論文誌vol. 33, Suppl. は、年1回発行されるショートレターの増刊号です。投稿規程及び原稿執筆の手引きを参照の上、奮ってご投稿下さい。ショートレターの採録条件は、Vol. 27より以下になりましたのでご注意ください。（詳細は、JET117号参照）

1. ショートレターは、刷り上がり4ページ厳守です。（4ページを超えるものは採録しない）
2. ショートレターでは、筆頭著者（ファースト・オーサー）は本学会会員であることが条件です。あるいは、筆頭著者が投稿時に入会手続き及び会費納入等を行うことが必要です。なお、各会員は本ショートレターを年1偏に限り投稿できます。
3. 2009年12月に発刊の予定です。

ショートレターの内容については、例えば、以下のような内容が考えられます。

- ・全国大会や研究会で発表した内容をまとめたもの
- ・教育実践をベースにした実践と知見をまとめたもの
- ・教育システム開発など
- ・教育工学研究としての速報的な内容
- ・卒業論文や修士論文等としてまとめた内容、など

なお、ショートレターで掲載された内容を、研究的に発展させまとめて、論文採録の条件を満たすと思われる内容は、学会論文誌に投稿することができます。

ページ数が限られていることから、タイトル、著者、内容については十分厳選の上、ご執筆下さい。

特に、ショートレターの趣旨から、多人数の連名著者はさけて下さい。研究全体がプロジェクトチームによる共同研究であっても、実際にショートレターの限られた内容に直接携わり、執筆した研究者にしてくださいようお願い致します。

ショートレターの査読日程予定(2009年度)：

- 4月中 担当及び査読者の指名
- 5月 編集委員会で査読進捗状況の確認
- 7月 編集委員会で採録、返戻の第1回決定
- 9月 編集委員会で採録、返戻の第2回決定
- 10月 最終原稿の提出
- 11月 著者校正
- 12月 増刊号発行予定

論文投稿の仕方：

原稿は、「原稿執筆の手引」(<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>)に従って執筆し、学会ホームページの会員専用Webサイトから電子投稿して下さい。今回より郵送による投稿は受け付けておりませんのでご注意ください。

問い合わせ先：

電子メール：short2009@jset.gr.jp

Tel/Fax：03-5740-9505 日本教育工学会事務局

## 日本教育工学会主催 大学教員のためのFD研修会(ワークショップ)のご案内

テーマ：多人数教育の授業設計と管理

—他人数の講義で学生が主体的に参加できる自律的学習の実現に向けて—

日時：2009年3月29日(日) 10:00-17:30

場所：聖心女子大学 東京都渋谷区広尾 4-3-1 (東京メトロ日比谷線・広尾駅すぐ)

定員：40名 (申込み先着順で、定員に成り次第締切ります)

講師：西之園晴夫、望月紫帆 (特定非営利活動法人 学習開発研究所)

永野和男 (聖心女子大学)、宮田 仁 (滋賀大学)

参加費：3,000円 (学会員以外の方もお申し込みいただけます)

申込方法：[https://www.kayoo.info/jset\\_fd/](https://www.kayoo.info/jset_fd/) にアクセスしてお申し込み下さい。

(受付締切は3月23日ですが定員に成り次第締切ります。早めにお申し込み下さい)

認定書：研修会終了後、最終レポートを提出した修了者には、日本教育工学会から認定書を授与します。

研修会の趣旨と内容：現在、大学が当面している受講生数100名以上の多人数教育はこれからの大学経営にとってきわめて重要な機能を果たすことになります。その合理的な解決方法のひとつとして、今回のワークショップでは、ICTを活用して「チーム学習で多人数教育」を実現する方法を紹介します。

10:00	開講, スタッフ紹介, 日程説明
10:00	多人数教育の意義と設計(講義), 学士力の育成との関連
11:00	演習: ワークショップに参加する段階と期待される成果
12:00	グループに分かれ, 「私が抱えている問題」の報告とビジョンの共有
12:10-13:00	昼食
13:00	チーム演習: メタファー, イメージ, モデルの作成や活用の簡単な体験を通じてチーム毎の問題の明確化と最終成果(1ヶ月後)の合意
14:30	レポートの評価, 成果物の評価, 記録の評価など最終成果の評価方法
14:30-14:40	休憩
14:40	個人演習: 人が主体的に活動することとMACETOモデルの試用
16:00	個人の演習成果の発表
16:00-16:10	休憩
16:10	グループでの問題解決についてのレポート評価の共通理解
17:00	グループで課題を共有するためのメタファーとイメージ
17:20	全体の共通課題, 実践レポート, 企画案などの提出までの説明
17:30	終了

上記の日程は参加者の実態に応じて変更することがあります。

## 第12期第13回理事会議事録

日時：平成20年11月29日(土) 14:40~16:30

場所：キャンパス・イノベーションセンター 8階 806号室

出席：赤堀侃司会長、永野和男副会長、矢野米雄副会長、赤倉貴子、植野真臣、大久保昇、大谷 尚、木原俊行、澤本和子、三宮真智子、清水康敬、中山 実、東原義訓、堀田龍也、美馬のゆり、室田真男、山内祐平

事務局：服部、磯野

- 第12期12回理事会議事録を資料のとおり承認した。
- 会員の移動について承認した。
  - 新入会員： 30名 (正会員:21名, 学生会員: 7名, 准会員:2名)
  - 退会会員： 3名 (正会員: 1名, 学生会員: 1名, 准会員:1名)
  - 種別変更： 4名 (正会員へ4名)

### 3. 各種委員会報告について

#### (1) 編集委員会

清水編集長から資料に基づいて、和文誌、英文誌の編集進捗状況、特集号及びショートレター増刊号の査読進捗状況について報告があった。

2009年度の特集号の準備状況、及び2010年度の特集号テーマについて、システム開発論文及び教育実践論文の査読ガイドライン等について検討したことが報告された。

#### (2) 研究会委員会

堀田委員長から資料に基づいて、今年度の委員会活動状況、次回の研究会の発表件数について説明があった。また、2009年度の研究会開催地、日程及びテーマについて提案があり、これを承認した。

#### (3) 企画委員会

美馬委員長から資料に基づいて、冬の合宿研究会の開催案内、及び産学協同セミナー開催案内について説明があった。

2009年度シンポジウム会場について、2009年6月20日東京大学福武ホールで開催することにした。

#### (4) 大会企画委員会

木原委員長から、第24回大会の開催内容について報告があった。

また、大会企画委員会委員長に東原理事を指名し、第25回大会企画委員会を1月24日に開催することが報告された。

#### (5) 顕彰委員会

三宮委員長より、研究奨励賞の推薦について重ねて依頼があった。また、今後の予定について説明があった。

#### (6) 国際交流委員会

会長から日中交流フォーラムの開催計画について説明があった。

#### (7) 総務関係

永野副会長から、各種委員会委員の任期について確認があった。

#### (8) 選挙管理委員会

澤本委員長から次期役員候補者の推薦に関する投票結果が報告され、会長候補、理事候補について承認した。

監事候補の選任については、「役員選挙に関する規程」の基準を満たす候補者がいなかったことから、基準を満たさない得票者を理事会で開示した上で、改めて投票することを決めた。その結果を基に、投票用紙記載役員候補者案を確認した。

#### (9) 広報委員会

赤倉委員長から資料に基づいてJSETニューズレター163号の台割案が示され、ページ数の構成について検討した。

### 4. その他

#### (1) FD特別委員会について

永野副会長から資料に基づいて実施計画が説明され、これを承認した。

#### (2) 協賛名義使用を承諾した。

・「夢のある教育学研究のタネを見つけよう」(第19回教育システム若手の会)

・「平成21年度工学・工業教育研究講演会」(日本工学教育協会)

#### (3) 本会へ依頼について

・日本工学教育協会の実行委員会委員の指名について、矢野副会長から植野理事に依頼があった。

・日本教育学会から2008年度大会報告と2009年度大会日程について依頼と照会があり、東原大会企画委員長に依頼した。

#### (4) 本学会への広報を確認した。

#### (5) 今後の理事会

第12期第14回理事会 2009年01月24日(土)14:30~16:30 CIC 806号室

第12期第15回理事会 2009年03月21日(土)14:30~16:30 CIC 806号室

第12期第16回理事会 2009年05月09日(土)14:30~16:30 CIC 806号室

以上

## 第12期第14回理事会議事録

日時：平成21年01月24日(土)14:40~16:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター 8階 806号室

出席：赤堀侃司会長、矢野米雄副会長、植野真臣、大久保昇、小柳和喜雄、黒上晴夫、木原俊行、清水康敬、鈴木克明、中山 実、東原義訓、堀田龍也、美馬のゆり、宮田 仁、室田真男、山内祐平

事務局：服部、磯野

1. 第12期13回理事会議事録を資料のとおり承認した。
2. 会員の移動について承認した。
  - (1) 新入会員： 18名(正会員：9名，学生会員：9名)
  - (2) 退会会員： 6名(正会員：3名，学生会員：1名，准会員：2名)
  - (3) 種別変更： 1名(正会員へ1名)
3. 各種委員会報告について
  - (1) 編集委員会  
清水編集長から資料に基づいて、和文誌、英文誌の編集進捗状況について報告があった。  
2009年度の特集号の応募投稿、及び2010年度の特集号テーマについて、システム開発論文及び教育実践論文の査読ガイドライン等について検討したことが報告された。
  - (2) 研究会委員会  
堀田委員長から2008年12月の研究会開催報告、次回の研究会(3月7日)の発表件数について説明があった。
  - (3) 企画委員会  
美馬委員長，鈴木理事，大久保理事から2009年度シンポジウム会場，冬の合宿研究会の日程，産学協同セミナーについて説明があった。
  - (4) 大会企画委員会  
東原委員長から，資料に基づいて大会企画委員の提案があり，これを承認した。  
また，東原委員長，室田理事，山内理事から第25回大会企画内容について報告があった。
  - (5) 選挙管理委員会  
室田委員から，前回理事会で提案した候補者全員から承諾を得て，投票用紙に掲載し，現在，投票中であることが報告された。
  - (6) 国際交流委員会  
黒上理事から，8月に中国で開催する日中交流フォーラムの進捗状況について説明があった。赤堀会長から国際交流委員を選任して検討したい旨，説明があった。
  - (7) 大学教員のためのFD研修会について  
宮田理事から3月29日に開催される研修会について案内と参加者の募集案内があった。
  - (8) 広報委員会  
宮田理事から既に決定されたJSETニューズレター163号の台割案について確認があった。
  - (9) 学会の会計について  
清水理事より，理事の交通費の清算，会員会費の請求及びその取扱いについて説明があり，これを承認した。また，各種委員会での委員旅費の取扱いについて確認した。
4. その他
  - (1) 共催名義使用を承諾した。
    - ・平成21年度工学教育連合講演会(日本工学教育協会)
  - (2) 後援名義使用を承諾した。
    - ・2008年度第4回BEAT Seminar(東京大学情報学環ベネッセ先端教育技術学講座)
  - (3) 協賛名義使用を承諾した。
    - ・日本機械学会講習会(日本機械学会)
  - (4) 調査等の回答について
    - ・アンケート調査(日本学術会議科学者委員会)
    - ・国立情報学研究所電子図書館コンテンツデータ提供依頼(国立情報学研究所)
    - ・SISTアンケートへの協力依頼(科学技術振興機構)
  - (5) 本学会への広報を確認した。
  - (6) 今後の理事会  
第12期第15回理事会 2009年03月21日(土)14:30~16:30 CIC 806号室  
第12期第16回理事会 2009年05月09日(土)14:30~16:30 CIC 806号室

以上

## 最近の論文投稿数と採択率

編集長 清水康敬

本学会の論文誌、英文誌に投稿されました論文の数と採択率を以下に示します。  
ただし、2008年度は、2008年4月から12月までに投稿された数となります。

### 論文誌（特集号以外）

投稿年度	種別	投稿数	採択	返戻	取り下げ	査読中	採択率 %
2006年度	論文	52	27	24	1		52
	資料	13	4	9			31
2007年度	論文	44	23	18	2	1	52
	資料	14	10	4			71
	寄書	2		2			0
2008年度	論文	37	5	11		21	—
	資料	14	2	1	1	10	—
	寄書	1		1			0

### 論文誌（特集号）

投稿年度	種別	投稿数	採択	返戻	取り下げ	査読中	採択率 %
2006年度	論文	25	7	16	2		28
	資料	6	4	2			67
	寄書	1	1				100
	展望・総説	2	2				100
2007年度	論文	23	9	12	2		39
	展望・総説	4	4				100
2008年度	論文	18	3	12	3		17
	資料	4	3	1			75
	寄書	1	1				100
	総説	3	3				100

### 論文誌（ショートレター）

投稿年度	種別	投稿数	採択	返戻	取り下げ	査読中	採択率 %
2006年度	ショート	85	48	28	9		56
2007年度	ショート	100	55	42	3		55
2008年度	ショート	104	50	47	7		48

### 英文誌

投稿年度	種別	投稿数	採択	返戻	取り下げ	査読中	採択率 %
2006年度	Paper	3		3			0
	Translation	4	4				100
2007年度	Paper	3	2		1		67
	Translation	13	12	1			92
	Technical Inf.	11		1			0
	Review	1	1				100
2008年度	Paper	2		1	1		0
	Translation	12	12				100
	Short Note	1			1		0

## 2009 年度会費納入のお願い

論文誌は年会費を納入した会員だけにお送りしています。

3月下旬に会費請求書をお送りしますので、クレジットカード支払い、または、その時に同封します郵便振込用紙により2009年度（2009年4月1日～2010年3月31日）の年会費をご送金くださるようお願いいたします。

年会費の年額は右記のとおりです。

2008年度会費未納の会員にはラベル紙にその旨を記載していますので、至急ご送金ください。会費を送金された場合には後日まとめて発送します。

### ◆会員種別と年会費・受けるサービス

(入会金 1,000 円)

会員種別	年会費	論文誌	増刊号	英文誌	JSET
正会員	9,000 円	1	1	1	1
准会員	5,500 円		1		1
学生会員	5,500 円	1	1	1	1
維持会員	50,000 円/口	3	3	3	3
名誉会員	無 料	1	1	1	1

(注) 論文誌：和文/年4回発行

増刊号：ショートレター特集/年1回発行

英文誌：英文/年1回発行

JSET：ニューズレター/年6回発行

### ◆学生会員について

- 学生会員は正規の入学で、研究生は該当しません。
- 学生会員の所属機関は、必ず大学名となります。所属機関が大学以外の場合には、正会員または准会員となります。
- 学生会員は、資格条件（大学名、学部名／研究科名、指導教官名、卒業見込／修了見込の年月）を必ず連絡してください。
- 学生会員として資格条件をご連絡いただかないで、年会費5,500円を納入された方は、とりあえず准会員に変更させていただいております。

## 2009 年度研究報告集の予約購読(年額 3,500 円)について

本学会では、研究会を5回または6回開催し、研究報告集を発行しております。この研究報告集は事前に代金3,500円を送金された会員に配布しています。事前に3,500円をご送金ください。

研究会当日、会場で受領できます。不参加の場合は研究会終了後に郵送いたします。年度の途中でご送金いただいた場合は、次に開催される研究会終了後に、それ以前の報告集を郵送します。代金後納の場合と非会員の場合は、以下に販売を委託しています。代金：5,000円

- ・株式会社毎日学術フォーラム 販売業務課 小坂朋代
- ・〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階
- ・TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555 E-mail. maf-sales@mycom.co.jp

## 第24回全国大会講演論文集の購入について

昨年10月に上越教育大学で開催された第24回全国大会の論文集に残部があります。購入をご希望の方は、学会事務局 (office-s@jset.gr.jp) にメールで在庫を確認の上、以下の金額をご送金ください。ご入金を確認後お送りいたします。

郵便振込用紙の通信欄に「第24回全国大会講演論文集」とご明記ください。特にご要望がない場合、請求書・領収証等を発行しておりませんので、必要な方はその旨ご記入ください。

- ・第24回全国大会講演論文集 1部 7,000円（論文集代6,000円+送料1,000円）
- ・口座番号：00180-2-539055 加入者名：日本教育工学会

代金後納の場合は、上記の研究会報告集と同様に、(株)毎日学術フォーラムに販売を委託しています。代金は6,000円+送料となります。



新入会員(2008年9月17日～2009年1月19日)

■正会員 30名

小西 達裕(静岡大学)  
岩瀬 弘和(東京成徳大学)  
田中 佳一(高美が丘小学校)  
臼井 英夫(神戸大学大学院)  
松本 和重  
木津 由美子(天使大学)  
黒木 英一(日産自動車株式会社 日産  
ラーニングセンター現場管理スクール)  
田村 幸雄(厚木市立相川小学校)  
竹内 伸宜(神戸海星女子学院大学)  
齋藤 長行(サイバー大学)  
久保田 真一郎(熊本大学)  
曾我 真人(和歌山大学)  
三谷 宏治(金沢工業大学大学院)  
石田 靖彦(愛知教育大学)  
渡邊 光浩(三股町立勝岡小学校)  
今野 将(千葉工業大学)  
豊田 雄彦(自由が丘産能短期大学)

柴崎 秀子(長岡技術科学大学)  
須藤 崇夫  
田村 一利(新潟県立新津高等学校)  
木本 雅也(鳥取大学)  
菅山 明美(NHKエンタープライズ)  
伊東 保昌(武蔵工業大学)  
田中 健一  
山口 昌也(国立国語研究所)  
三池 克明(信州短期大学)  
橋本 喜代太(大阪府立大学)  
田山 淳(東北労災病院)  
久保田 真弓(関西大学)  
高橋 大洋

■学生会員 16名

瀬戸 稔代(早稲田大学人間科学部)  
田中 優子(京都大学大学院)  
小野 達也(熊本大学大学院)  
坂本 潤一(東京学芸大学教育学部)

笠井 詠子(熊本大学大学院)  
青柳 西藏(京都大学大学院)  
池田 耕二(大阪電気通信大学大学院)  
遠藤 宣子(愛知淑徳大学大学院)  
鹿目 葉子(桜美林大学大学院)  
永野 直(鳴門教育大学大学院)  
小林 建太(鳴門教育大学大学院)  
仲二見 和恵(鳴門教育大学大学院)  
森下 翔悟(鳴門教育大学大学院)  
武知 将人(鳴門教育大学大学院)  
北村 隆始(熊本大学大学院)  
徳永 裕一(鳴門教育大学大学院)

■准会員 2名

湯山 万里子  
(青山学院大学総合研究所)  
榛葉 久美

学会日誌

2009年

3月 6日(金) 産学協同セミナー「職業的専門性としての教育工学」(内田洋行 東京シ  
ョールーム)  
3月 7日(土) 研究会「ICTの教育活用と授業設計」(椋山女学園大学)  
3月21日(土) 理事会  
3月29日(日) 大学教員のためのFD研修会(聖心女子大学)  
4月 1日(水) ショートレター増刊号 論文受付締切  
5月 6日(水) ニューズレター 164号発行  
5月 9日(土) 理事会  
5月16日(土) 研究会「ICTを活用したFD」(徳島大学)  
6月20日(土) 通常総会及びシンポジウム(東京大学)  
6月24日(水) ニューズレター 165号発行  
7月 4日(土) 研究会「教科教育学と教育工学の交差点」(宮崎大学)  
9月19日(土)～21日(月) 第25回全国大会(東京大学)

お問い合わせ先 (Eメールアドレス)

- ◆ 論文投稿に関するお問い合わせ…………… 編集委員会 (editor@jset.gr.jp)
- ◆ 研究会の開催についてのお問い合わせ…………… 研究会事務局 (study-group-core@jset.gr.jp)
- ◆ 全国大会の開催についてのお問い合わせ…………… 大会企画委員会 (taikai2009@jset.gr.jp)
- ◆ ニューズレター編集に関するお問い合わせ…………… 広報委員会 (kouhou@jset.gr.jp)
- ◆ その他のお問い合わせ…………… 学会事務局 (office@jset.gr.jp)

広報委員会

編集長: 清水康敬, 広報委員長: 赤倉貴子, 広報副委員長: 宮田 仁,  
委員: 矢野米雄, 伊藤剛和, 香山瑞恵, 神月紀輔, 皆川 武, 三輪吉和  
E-mail: kouhou@jset.gr.jp

日本教育工学会ニューズレター No. 163

2009年02月27日 発行人 赤堀 侃司  
発行所 日本教育工学会事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル  
TEL/FAX: 03-5740-9505 E-mail: office@jset.gr.jp  
http://www.jset.gr.jp/ 郵便振替 00180-2-539055